



# 29年度当初予算の概要

※は新規事業

## ☆重点政策事業

### ①産業を育成し雇用を創出する

●※インターンシップ促進支援事業  
大学生等の市内企業におけるインターンシップ参加を促すために交通費・宿泊費を補助  
【150万円】

### ②人口減少に歯止めを

●ワークライフバランス推進事業  
男性の育児休業取得促進とワークスタイル研修受講支援  
【485万円】

### ③暮らしを支える社会基盤を強化する

●福祉医療費  
【8256万円】  
中学生の通院医療費無料

### ●暮らしを支える社会基盤を強化する

●※生活インフラ整備加速化事業  
【2億円】  
市民生活に直結する生活道路の補修や克雪施設の修繕を実施

### ☆ハード事業

### ●地方道路交付金事業（橋梁維持）

【1億5500万円】

### ●地方道路交付金事業

【2億8600万円】  
（舗装補修・防雪柵設置）

### ●※公文書館整備事業

【1億400万円】

### ●※園芸メガ団地整備事業

【2億7800万円】

### ●※旧環境保全センター解体事業

【3564万円】

### ●※十文字地域局及び周辺整備調査事業

【2724万円】  
【214万円】



園芸メガ団地が整備される十五野ハウス団地



公文書館が整備される旧・鳳中

青山ゆたか

2月28日

## 本会議 予算質疑

### ふるさと納税PR事業

問 拡充と見直しについて、どのようなことを考えているのか？

答 1億5千万円の寄付を目指して事業を推進したい。見直しについては、市外の業者に委託しているものを市内業者に変更することを検討している。

問 自治体間での競争過熱が懸念され、ふるさと納税の本来の趣旨が薄れてきている。その点はどうように受け止めているのか？市では趣旨から逸脱しないために寄付者に対して「返礼品を受け取らない」という選択肢も与えているが、それは継続するのか？

答 国からの方針が示されると思うので、それを踏まえてしっかりと検討していく。返礼品については、受け取らない方も実在しているのを継続する。

### シティセールス2020事業

問 この事業の担当は秘書広報課だ。シティセールスとシティプロモーションは同じ意味だと捉えている。27年度の組織機構再編でシティプロモーション機能は横手の魅力営業課に移ったはずだが、なぜ秘書広報課が担当するのか？

答 2020年に向けてインバウンドやホストタウンなど各課で行う取り組みを「情報発信」という切り口でまとめていくための事業だ。

問 2020年までの計画だから、そこには一本の戦略があるべきだ。4か年の中でいつ、どこで、どんな予算をつけてやっていくのか？そして、何をやっていくのか？そして、何をやっていくのか？

答 予算は単年度主義だ。今の段階で2020年までの細かい話の持ち合わせはない。29年度に組み立てていくのが当然だと思う。

### 街路灯 LED事業

### 町内会設置の街路灯をLED化、市管理へ移行

29年度に実施される「街路灯LED化事業」は現在、市内の町内会が設置している100W以下の街路灯をLED化し、管理を市に移行するものです。これによって、町内会が負担してきた取り換え費用等がなくなるようになります。LEDへの切り替えは29年度中の完了を見込んでいます。

